悠紀だより

甲府市立石田小学校
令和３年２月２２日
Vol.12
校長　雨宮秀樹

交通安全優良学校賞　受賞

石田小学校が「全日本交通安全協会長表彰優良学校」として表彰されました。これは，毎朝の保護者の皆様によるPTA旗振り活動，石田地区安心安全まちづくり会による「石田小安全パトロール事業」「青色防犯パトロール事業」をはじめとする地域の方々による登下校の見守り活動，学校での交通安全教室や自転車教室，安心安全マップ（ほっとマップ）を活用した安全指導，そして何より毎日のご家庭での声かけ等により，子どもたち自身が交通安全への意識を高めているという活動が認められたものです。

山梨県内ではただ一校だけの受賞であり，第61回交通安全国民運動中央大会での表彰予定でしたが，残念ながら新型コロナウイルス感染拡大防止の為に大会中止となってしまいました。代わりに用意された令和3年交通安全県民大会も中止となり，先日，甲府警察署交通課長・交通安全協会の方々・石田支部長の深沢祐治様により、本校へ表彰状が届けられました。

石田小学校の学区の近くには商業施設も多く，交通量の激しい大きな道路もあります。最近，市内で小学生の自転車に関わる事故が増えています。ご家庭でも再度，注意喚起をお願いいたします。子どもたちが事故などの危険に巻き込まれることが無く，「健康と安全は自分で守る」という心構えを持って生活できるよう，今後も安全教育を進めていきたいと思います。

プログラミング体験教室

2月10日（水）アイやまなし人材育成協会の方を講師に招き，３年生がペッパーロボットを動かすソフト（Pepper maker）を使ったプログラミング体験を行いました。

最初に，ペッパーロボットの説明がありました。ロボットは指示された順番に指示されたとおりに動くことや，ペッパーが言葉を喋るのは，人が話す時と同じようにたくさんの言葉を人工知能に覚えさせていること等を教えて貰いました。また，ペッパーロボットは人に怪我をさせない工夫がいろいろ施されていること等も紹介されました。

そして，いよいよプログラミング体験です。ペッパーメーカーというソフトを使い，「挨拶」の動きや，「セリフ」の言葉を並べていきます。自分の組んだプログラムで動くロボ

ットの様子を画面上で見たり，「セリフ」をローマ字入力しながら自分の好きな言葉に代えたりしていきました。子どもたちの学びの力は素晴らしく，近くの友だちと教えあったり互いの作品を見合ったりしながら，自分たちでどんどんペッパーの動き（プログラム）を工夫していきました。

これは，２／３（水）６年生が行った情報モラル教室です。

あっという間に45分間が過ぎ，最後は，歌って踊るペッパーロボットを楽しみました。子どもたちからは，「プログラムは難しかったけど，もっとやってみたい！」「いろいろ学べて楽しかった！」等の感想が発表されました。

本年度から小学校では，情報活用能力（情報モラルを含む）の育成を図るために「プログラミング教育（児童がプログラミングを体験しながら，コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けさせるための学習活動）」が始まりました。この日に使ったペッパーメーカー（Pepper maker）の他にも，スクラッチ（Scratch）など，無料のプログラミング言語がインターネットに公開されています。ビジュアルプログラミング言語なので，子どもたちも簡単にプログラムを組み，その指示されたとおりに動く様子を見ることができます。機会がありましたら是非挑戦させてみてください。

こうふドリームキャンパス「夢の先生」

2月17日（水）５年生の授業参観にあわせて，東京オリンピック・パラリンピック聖火ランナーであり，山梨県ボッチャ協会副会長の田中千晶さんを講師に招き，「開府500年記念事業こうふドリームキャンパス」が開催されました。

田中さんは，14年前に原因不明の難病を発症し，車いすの生活を送っています。しかし，悩み苦しみながらも今の状況に挫けず，絵や歌，ボッチャや聖火ランナーなど，積極的に挑戦しています。この日は，樋口雄一甲府市長さんも来校され，講師の紹介をしていただきました。

講演では，オリンピック聖火ランナーに応募した思いや，心と体を表現するために絵を描くことが生きることに繋がっていること等のお話をされました。そして，できないことに目を向けるのではなく，どうすればできるのかを考えることの大切さ，できることは少なくてもそのぶん精一杯やることの大切さなどを伝えてくれました。講演の最後は，口に筆をくわえて「雲外蒼天（乗り越えた先には必ず青い空が広がっている）」という文字を色紙に書き，「夢に向かってまっすぐ進んでいって欲しい」という言葉をいただきました。

子どもたちからは「自分のできることに挑戦してきた田中さんの人生に感動しました。」「どんなに辛いことがあっても希望を捨てずに，どうやればできるだろうと考えて行動していきたいです。」等の感想が出されました。今回の講演は，子どもたちの視野を広げ，チャレンジする勇気を奮い立たせる機会にもなったようです。